川内川のチスジノリ発生地

【所　在　地】伊佐市刈町湯之尾滝付近から荒田天神橋付近まで
【種　　別】国指定天然記念物
【指定年月日】大正 13 年 12 月９日

荒田天神橋付近

チスジノリは紅藻類のチスジノリ科に属する淡水産の藻類の一種で，九州中南部の限られた河川に分布する日本固有種である。形態は糸状で複羽状に分岐して成長し，暗紫色又は紅色をして流水中の岩やセメントブロック，竹，木などに付着して生育している。色や形が血管に似ていることから，「血条苔」の名がついた。

川内川では，菱刈町の湯之尾滝下流から荒田天神橋付近の間で見られる。生育時期は 11 月から３月頃までの冬季で，長さは普通 30 ～ 60cm，希に２ m に達するものもある。その他の生息地としては，栗野町内での発生も知られている。姶良郡の天降川の新川温泉付近も発生地として知られているが，最近は発生状況が不明である。県外では熊本県山鹿市の菊池川が知られている。いずれの発生地も温泉水の流入する場所に限られているので，藻の発生する条件は，水質や水温との関わりが大きいものと思われる。